

## 令和 2 年度 第2回図書館協議会 会議録

- ◎開催日時 令和 2 年(2020 年)10 月3日(土)午前10時~12時  
◎開催場所 野洲図書館 本館 フリースペース  
◎出席者 図書館協議会委員 9 名(早川久登委員、松山裕子委員、五十嵐芳子委員、遠藤正一委員、川端初美委員、國松完二委員、高野真知子委員、高畠謙治委員、吉野澄子委員)、事務局3名(図書館長、専門員(司書)、司書)  
(欠席委員 1 名・下谷龍王委員、傍聴者2名(途中退席))

### \*配布資料について

ここに掲載した以外の資料については、図書館本館および中主分館で、図書館協議会議事録とともに公開しています。

## 1. 開 会

## 2. 議 事

### (1) 令和元年度図書館の評価について(外部評価)

(第1回会議で事務局より令和元年度実績について説明し、図書館の評価について内部評価を提示した。今回はこれを受けて外部評価をどうするか委員により協議を行った)

【会長】目標項目1の貸出冊数について、意見はありますか。目標数値を達成してないのでCでいいかと思います。

【委員】昔のように貸出がどんどん増えていかない。目標自体は最終的には令和5年に向けてだが、55万冊ということは市民一人10冊くらいになります。10冊を下回らないようにしていくには、を考えていってはどうでしょうか。増やしていくという時代ではない。今のレベルを下回らないという視点で考えていく。守山の新館開館の影響は落ち着いていると思います。それを前提に考えていく。

中主を含めて野洲市の地域での利用のされ方、遠方の住む人の利用をどうしていくかなどに重点を置いていくといいのではないですか。

【委員】令和元年はいわゆるコロナの影響を考える年。福祉の世界ではよくやる手法です、開所日数を考慮して数値を出しています。開所していた日数に対してこのくらいの目標数値、としておけば、コロナ等の影響で休んだ期間があっても年度の比較が分かりやすい。図書館の場合は開館日数ですね。そういう考え方を導入してはどうですか。実際開館できなかった日数があるわけだから、そういう視点があったらよいのでは。

【会長】次に目標数値をたてる時には、目標自体をもう少し考えるべきです。フィードバックを受けて、ターゲットを絞って修正した方がよい。

【会長】他に意見はありますか?では目標項目1については、今回はCとします。

気になったのはアンケートで「新しい本が少ない」という声があったことです。新しい本が買えていないのですか?

【委員】提案があります。蒲生図書館は新刊を表紙の写真か背表紙など何かでアピールしています。野洲図書館でも新刊の購入はしているのに人気の本はすぐに貸出され、新刊コーナーに残っていない。人気のない本や専門書とかばかりが目につくようになります。ちゃんと人気の本を入れてますよ、というアピールが必要かと思います。こういう本は図書館としてちゃんと購入しているというアピール。貸出や予約で回っているために棚にないだけとわかってもらう。

【会長】『滋賀の図書館 2020』の統計を見てみると、県内の市で資料費が一番多いのは東近江、2位が野洲、3位湖南、守山は4位。でも購入した冊数は守山が1位になる。守山市は安い本をたくさん買っているのか。購入冊数の人口比を見ると守山、高島、野洲の順になる。

【委員】取り組み方法に「選書の質の向上」とあるが、選書はとても丁寧に選書されていると思います。これ以上に方法はありますか。

【館長】図書館の選書は、多様な意見、多様な考え方を踏まえなければならない。職員16人で気をつけて選書してはいますが、5万人の市民全員の必要とすることへの目配りはなかなかできない。もっとさらに向上させなければならないと考えます。

【会長】項目2の中主分館の貸出冊数について、内部評価C。外部評価もCをつけたい。

【委員】中主分館でのおはなし会など新しいとりくみが始まり、以前よりお父さんお母さんたちがたくさん来られています。成果が出ていてありがたい。ただ、分館を自分の居場所と思っているような近隣の人たちもいるが、全体として中主分館に足を運ぶ人が少ない。前からお願いするように、小さい規模でいいので、コミセンとか自治会とかに定期的に本を配達してもらえたりするとうれしい。

【会長】高齢化に伴い、本館の周辺の人たちも来られなくなります。若い人口が減っていく。人生100年時代にどうするのか、長期的に考えるべきです。小学校への貸出のように、地域文庫的な活動をしていくのか議論が必要です。

ただ、本館は前年比マイナス4.6%、中主分館はマイナス0.7%と、本館に比べて減り方が少ないのを見ると、図書館の努力の成果でしょうか。

【委員】自己評価もそうだが、C評価は「目標があまり達成できなかった」となっています。8割達成できたらB評価「ある程度達成できた」にすることが他の評価等では多いが、野洲図書館の評価では、評価の数値基準をつくっていない。「あまり達成できなかった」というのは目標をかなり下回った場合ではないでしょうか。野洲市の他の評価方法としてはどのようになっていますか。

【館長】市では他にさまざまな評価がありますが、それぞれ基準や目標の立て方がさまざまで、そのまま図書館の評価基準に持ってくるのが難しかった。目標値を達成できなかったから「C」としましたが、CなのかDなのか迷いました。

【委員】後ろは振り返れないので、これからは数字を入れていったほうがよい。何パーセントから何パーセントであれば、B評価にするなどにしてはどうですか。

【委員】中主小と中主中は出張貸出で、たくさん本を持って来てもらっています。中主では、地域との連携を進めているので、このときに地域の人と一緒に借りてもらうことができたらいいなと思います。中主中の時に地域の人も借りてもらってもいいよね、という話が出ていました。今年はコロナの影響で外部の人が学校に入るのは慎重にならざるを得ないのですが、将来的に地域との活動を進め、ご相談させていただきたい。そうすると中主の人が本に触れる機会も増える

のではないのでしょうか。

【委員】今までから中主の地域の方は結束力があり協力的な地域性があります。学校というのは、地域の人にいろいろな関わりを持っています。たとえば学校の応援団という形。子どもたちの授業が終わってからの消毒もボランティアが行うなど、ボランティアがたくさん関わっています。図書館としてはどういう形でボランティアがかかわっていくのか。将来的には、読みたい本がシルバーカーを押してでも行けるような近くにある形がいい。図書館でボランティアさんを募っていく、という形はできないのかなと思います。

【館長】コミセンや自治会が本を貸してほしいという話があれば対応します。熱意をもってやってくれる人がいればよいのですが、以前の滋賀県の草の根文庫事業は「そういう制度なのでやってください」という上からの事業だったので長く続かなかった。こども文庫など、熱意があるところは続いた。本当に自分がやりたいからやるという熱意のある方がいれば、図書館は協力できます。図書館がこういうことするからどうですか、と踏み込めるかどうかは難しい。

【委員】先日、生涯学習カレッジで読み聞かせ講座をしてもらいました。参加されたメンバーの中に自治会の生涯学習委員がいました。自治会の中で読み聞かせをするにはどうしたらいいか、どんな本が良いのかなど聞かれました。気に入ったものなど自由である、図書館に来て職員に相談してください、と答えました。相談して、選ぶことで一歩前進します。学校だけでなく自治会にも本を届けたい人がいる、と感動しました。野洲市の子どもたちにとっても心強い。ただ、図書館に相談するという考えをもたれていなかったのも、「自治会貸出 OK」のような図書館のアピールが必要です。

【館長】検討します。

【委員】取組み方法の③に、中主に在架のものは予約できるとありますが、これはどういうものですか？

【事務局】今はコロナ対応で、書架にあるすべての資料がホームページから予約できます。

【委員】どれくらい利用されているのですか。

【館長】毎朝 20~50 冊くらいです。在架予約サービスをはじめると毎日何百冊と予約がかかり、キャンセルされる本が多い図書館もあると聞いたのですが、それは心配ありませんでした。

【事務局】開館時間中も随時処理しているので、朝の 20~50 冊の 2 倍とはいかなくても、そこそこの数の予約があります。

【会長】評価については、目標数値の 80% 達成でもできなかつたら「達成できなかった」の「C」だと思っていました。

【委員】C だけがずらっと並ぶという印象ですね。文言と何パーセント達成の数字をいれて、「そこそこがんばっているよね」というのを評価できるようにしてはどうですか。

【委員】他の図書館は 5 段階評価が多い。活動実績が厳しいとどうしても C とか D になります。市のホームページに掲載するとき、図書館以外の部署は、ある程度達成していると A とかつけていて、図書館は C ばかりが並ぶ。内部評価はそれでもよいのですが、外部評価の方で「それほどでもないよ」と上げたらどうですか。

【会長】中主分館の貸出はまあまあがんばっているということで「B」にしましょうか。

では、項目 3 の「人口一人当たり貸出冊数」。これはどうでしょう。C でよろしいですか。コメント

ありますか。

【委員】カッコ内の数値の扱いはどうなっていますか。（\*事務局注：目標数値は市外の利用を含めた総貸出冊数を人口で割ることにしたが、市民のみの貸出冊数を人口を割った数値をカッコ内に示した。）総貸出冊数を人口で割るのは、いろいろな図書館で共通して統計をこうとりましょうという数値です。広域貸出をやっている図書館も多いので、市民だけの数値を出すこともできますがそうすると他市との比較がしづらくなります。目標にするとCなんてしょうが、資料費は、もともとどこもきびしい。それでこれはなかなか頑張っているほうだと思います。

全国の図書館の新しい統計が出ています。野洲は人口5万人台の約80の市の中で貸出冊数が一番多い。目標達成は非常に難しいのだと思います。守山の新館が開館して、湖南4市でようやく4市が条件が揃い並べるようになりました。

【会長】Bにしますか？項目3をBにするなら項目1もBになるかという気がしますが。

【会長】次の項目4の「市の児童一人当たり貸出冊数」はBでもいいかという気がしますが、いかがでしょうか。（異議なし）

【会長】項目5の「団体貸出冊数」はBにしたいと思いますが、よろしいですか。（異議なし）

【会長】項目6の「市民の登録率」は、コンピュータ更新のため統計が出ず。評価なしとします。

【会長】項目7の「市民の新規登録者数」は外部評価もAとします。これはなぜ増えたのですか。

【館長】篠原小で出張貸出が始まったためです。

【会長】来年もやりますか？

【館長】やりますが、今回のような伸びはないかと思えます。

【会長】まだ出張貸出をやってない学校に働きかけていくのですか？

【館長】小学校6校すべては難しい。

【委員】今行っている学校は、図書館からの距離が遠いという距離的なものです。

【会長】小学生としては、出張貸出をしている学校に対して「あの学校はいいな」と思うのではないですか。団体貸出などでカバーできるのですか？

【館長】今実施している学校も月1回30分くらいだけで十分ではありません。どういう形が子どもたちに一番いいのか、学校を広げて対象を広げていくのか、労力をどうかけていくのか。

【会長】ひまわり号みたいな移動図書館車で市内をぐるっと回るのがあればよいですね。子ども、高齢者、障がい者を含めて考えていけばいいのではないですか。

では、この項目はAということによいですか。

【委員】以前にも申し上げたが、野洲市は県内で唯一学校司書が学校に入っていない。教育振興基本計画には入っていますが、学校図書館の整備が進めば、子どもたちも図書館にも行こうかという気になります。

【会長】項目8の「問い合わせ件数」について、外部評価もAとしたい。コメントはありますか。

「〇〇の棚はどこですか？」という質問もこの件数に入っているということで、これは単に表示がわかりにくいことも関係しているので、増えたからといって単純によいという数値ではないと思いました。

【会長】項目9「郷土資料、地域資料の受入冊数」は、外部評価もAとします。コメントはありますか。郷土資料・地域資料というのはデジタル化されていないのですか。

- 【館長】デジタル化されているものもあります。ただ、紙にしておかないと残らない。
- 【会長】デジタルで作られたものをわざわざ紙に印刷しているのですか。
- 【館長】現時点ではデジタルで30年先にも大丈夫という媒体はありません。
- 【会長】国会図書館ではどうしているのですか。参考にしてはどうですか。
- 【館長】途中で媒体変換しなければならなくなります。30年先も無事な媒体はないと聞いています。
- 【会長】県立図書館に行けば見られるようになっていきます。野洲図書館のサービスとしてホームページ等で見られるようにすることも必要だと思います。
- 【館長】今必要な最新の情報は既にホームページにあげられています。
- 【委員】市役所で地域資料を何冊発行しているかわからないが、利用はされているのですか。
- 【館長】利用は少ないです。
- 【委員】役所の記録の保存については、小さい自治体とかは、市役所である程度やるものなのですか。図書館と連動してやるものなのですか。
- 【委員】市や町レベルでは行政資料室があるところもあります。
- 【委員】図書館とは連動しないのですか。
- 【委員】していません。滋賀県の場合は規定があって、図書館に何部送ること、デジタルで年次報告など出したら紙焼きして図書館へ渡すように、となっています。デジタルだと、出したところが勝手に間違っていたと数字を変えてしまうこともあります。紙で出ると固定されるが、ホームページ上では勝手に数字が変わってしまうなどという問題があります。市町レベルでは各課が出したものを管理するのは難しい。以前ある市で、市の広報がその市で残っておらず、県立図書館に保存していたものを複写させてほしい、ということがありました。連携がうまくできればよいのですが。なかなか図書館側から各課に要望を出すのは難しいかもしれません。
- 【委員】野洲にある資料は、市役所の他の課から送られてきたから置いておくのですか。図書館にもらえるよう要望は出してないのですか。
- 【館長】もちろん出していますが、周知が十分ではありません。今後別の形で依頼する予定ですが、これまでは資料を送ってくれる課はごくわずかです。
- 【会長】他にはよろしいですか。
- 【委員】前回地元の企業の広報等も集めたらどうかと発言しましたがどうなっていますか。
- 【館長】まだできていません。実施します。
- 【会長】ほかにはよろしいですか。
- 項目10「おはなし会参加人数」について、コロナの影響は差し引くと、ほとんど変わらないので、Bでよいですか。（異議なし）コメントはありますか？（なし）
- 【会長】項目11「関係機関、団体との連携事業について」コメントはありますか？
- 項目12「障がい者サービス」はAでよいですか。目標値が低いのではという意見がありました。が、よいですか。（異議なし）郵送貸出は障がい者だけでなく高齢者も対象ですか。
- 【館長】要介護（指定した等級以上）と認定されている人は対象となります。手帳を持っていなくて怪我などの場合もケースバイケースで対象としています。
- 【会長】免許を返納した人などにも権利があるとよいと思う。

【館長】車が無いので来てほしいという声もありますが、そこまでは対応しきれない。

【委員】郵送貸出に郵便局のチェックは入るのですか。

【館長】入りません。

【委員】郵便局によって対応が異なり、「図書館の方で合理的に判断できるなら、自由に裁量を。」と言う郵便局もある。遠くて来られない人を入れるかどうか。そのあたりはどうなのですか。

【館長】郵便局で相談したとき、要綱に「館長が認める者」の一文をつける了解をもらった。でも図書館で勝手に拡大していくのもどうかと思います。けがをして動けないなど、その時点でなんらかの障害があれば検討しますが。

【会長】巡回バスの「おのりやす」が、中が空席の状態で回っているときがあり、もったいない。本をバスに載せて持って行ってもらえないか？近くの停留所まで持ってきてもらえるとか。とりあえずこの項目は、Aでよいですか。

【会長】項目13「職員対応について」Aでよいですか。

【委員】課題として「外部講師による研修も必要かもしれない」とされています。図書館の中だけでは研修ができないと思います。どういう課題がありますか。

【館長】たとえば発達障がいなど、いろんなハンディがある人への対応など、以前はよくわかっていなかったことがあります。また、今は赤ちゃん向けのおはなし会等がありますが、昔は乳幼児へのサービスを想定していなかった。今は対象が広がっているということもあります。職員側に十分な知識がない事柄があります。接遇を向上させたいし、利用者とのトラブルもあります。いろいろなケースが増えているので、危機管理的な研修も必要です。野洲図書館だけでは不十分なので県でやってもらうとか、行政の研修に行くとか、研修内容について要望を出す等をしていきたい。

【委員】障がいといっても様々なので、一般の方には違いがわかりにくい。警察が障がい特性をわかっているだけで、解決の方法が異なってきます。抑え込まれて死亡したという痛ましい事件もありました。先日たまたま野洲図書館でも職員に独りごとを言い続ける人を見かけました。アプローチの仕方を知っておくだけでも違います。

【委員】今までそういう研修はしてきたのですか。

【館長】行政の研修や県立図書館の司書向けの研修などに参加してきた。内容について希望も出せます。

【会長】ほかにはよろしいですか。では図書館の評価は以上です。

## (2) 令和2年度補正予算について

「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」に申請し、補正予算がついた図書館の事業について事務局より説明。学校の学級文庫用図書セットの貸出事業と図書館の資料費として合計一千万円。

【会長】質問や意見はありますか。

【委員】学級文庫用図書セットはこの事業向けに、すべて新しく買うのですか？

【館長】(補正予算だけでは)若干足りないので、足りない分は寄贈でいただいた本と、既存の学校貸出セットを使う予定です。学校貸出セットは、開館時間中に先生が来館しにくい等の理由で利用

が落ちています。これを解体して使用します。これにより団体貸出の冊数自体は減るかもしれませんが、子どものそばに本があること、子どもと本をつなぐことが一番大切です。クラスの中は子どもがいつも居るスペース。せめてそこに読める本があれば、という思いで始めます。

【委員】本校も読書活動に力を入れている。朝読書に使わせてもらうのもありがたい。交換は学期ごとと書いていますが、ひと月ごとの交換ではどうですか？

【館長】事業の手本にした長浜市ではひと月で交換しています。ただ先生に交換の負担がかかるのと、子どもがひと月で読め切れるかということで学期としました。読むのに結構長い時間かかる子もいると聞きました。1学期間では長すぎますか？

【委員】子どもは興味のあるものだけ読みます。ブックトークの本はひと月ほど借りています。それくらいがよいかと思います。やってみないとわかりませんが。

【館長】学校にアンケートもとります。先生方の意見を聞きながらすすめたい。2月くらいには始めたいと考えています。

【委員】図書館に回収して戻ってくるのは、年に1回くらいか。もっと長いスパンですか。

【館長】毎学期動いていくので、毎学期、図書館から1セット持っていきます。図書館に全部が戻ってくることはありません。

【委員】たとえば、A小学校が使っているものが来学期にはB小学校に1セット行くということですか。

【館長】そうです。

【委員】既に学級文庫をしているので、教職員の負担はそれほど考えてもらわなくてもよいかと思います。学級文庫は図書室から選んで、図書室に戻して、といった場合もある。クラス数が多いとそれを回しているのかもしれませんが。この事業は喜ばれると思います。

【館長】家への貸出についてはどう思いますか。コロナ禍のときには中主中学校に団体貸出をして、家庭へ持って帰ってもらった。学級文庫用のこの事業の本を家庭へも持ち帰り可能にすると、返却されないだとか等の管理で、先生は困らないでしょうか。図書館としては最終的に戻ってくればよいので、誰が何を借りたかの管理を先生はしない、ということ考えています。利用方法は学校にお任せするので、家に持って帰らせないという方針でもよいのですが、図書館としては寛容にいきたい。

【委員】家へ持って帰らせるには、備忘録くらいはつけてもらわないといけません。学校図書室は紛失率が高い。野洲図書館の本も返って来ない本があります。1冊足りないとかないと、先生の心の負担になるかもしれません。図書館の鷹揚な心構えを伝えれば、協力してもらえるのではないのでしょうか。

【委員】中身を変えて回すのですか。

【館長】中身は変えません。子どもは回ってくるころには学年が変わったり卒業したりするため同じ本は回りません。それも考えて1学期に1セットと考えた。毎月ならそのうち同じ本が回ってきてしまいます。

【委員】セットのうち3、4冊紛失したらどうするのですか。

【館長】図書館で補充します。

【委員】紛失はあるだろうと思います。

【館長】汚れる本とかもあるだろうと思いますが、交換、補充しながらやっていきます。

【会長】他にはよろしいですか。

### (3) 図書館の新型コロナウイルス感染症対策の状況

#### および今年度事業等について

事務局より説明：国、県の9月19日からの緩和策に準じて、図書館の対策の緩和した状況について。今年度事業について説明。(一時停止していた学校への出張貸出の開始、イベント、貸館等。開催中の「長倉洋海写真パネル展」の紹介、11月から予定しているフォトモザイクアートの展示について。お話し会は停止していたが、予約制の「ヒミツのお話し会」として再開、例年の11月の図書館まつりについては感染対策をしながら展示を中心に計画。) 施設管理について、開架室の吹き抜け部分のLED化完了と雨漏れ修繕の報告。

【委員】気休めかもしれませんが、(新聞記事にある)近江八幡のような消毒器を、コロナ禍の折に購入してはどうですか。

【館長】申請は出しましたが、新型コロナに効果があるか検証されておらず、維持費もかかるため却下されました。

【委員】近江八幡は利用者が消毒するのですか。いくらくらいかかるのですか。

【館長】利用者が消毒します。90万円くらいです。

【委員】今、野洲図書館ではカートとかごをカウンターに引いています。たくさん借りるときに、マイバッグに入れるのは気が引けるし、重いのでカートを使いたい。

【館長】声をかけていただければカートをお貸しすることになっています。

【委員】それは気が付きませんでした。

【会長】ほかにありますか。

【委員】消毒器について。守山図書館では一回6冊(の消毒の機能)では役に立たないと判断したようです。栗東図書館は2台導入。草津も追加で入ったそうです。消毒器は前からあるが、新型コロナに効くかどうかは検証されてない。図書館の本のフィルムは抗菌のフィルムですね。普通のプラスチックには新型コロナウイルスは3日残るとされています。期間をおくとよいのですが、1日千冊二千冊返却される本を置いておけない。拭く方法もあるが、ある程度の数だとやってられない。国の交付金では他に資料費がついたところがありますか。

【館長】豊郷に付いたようです。本が一番ありがたい。

【委員】カートは、スーパーでも置いてあるが、かごの手前とかにアルコールを置いたら、そこまで気にしなくていいのではないのでしょうか。カートを貸してほしいと声かけるのに勇気がいる人もいるだろうと思います。

【館長】現在の方式は臨時休館明けからやっています。スーパーも消毒しているし、と検討しました。

【委員】世間的に消毒が習慣になっているので大丈夫ではないでしょうか。カートを使用するのはヘビーユーザーです。その人に負担をかけないほうがよいと思います。

【委員】あとは表示の必要性。かごが無いのだと思い込んでしまう。「お声かけください」の表示に



たどり着けない人が他にもいるのではないですか。

【委員】小学校でのおはなし会をするにあたっての工夫はありますか。距離を取りながら、マスク着用など、図書館職員の工夫はありますか。

【事務局】こちらから学校内にリスクを持ち込まないという意識があります。フェイスシールドも検討しましたが、子どもたちはフェイスシールドに気をとられてお話に集中しないのでは、と考えました。マスクは見慣れているだろうから、ブックトークもマスクで行いました。あとは体調管理です。職員の毎日の検温などを行っています。実際のおはなし会では演者と観客に距離を取っています。学校での普段の様子に合わせて対応していくつもりです。ただ、マスクをしていると息切れがたつく、長丁場は難しいです。演目なども考えながらやっています。

【委員】マスクは聞きづらい。マウスシールドはどうですか。(ボランティアのおはなし会等で) 私たちは使っています。

【事務局】飛沫が防げるかどうか心配です。

【委員】絵本を読むときはそこまで飛ばないのではないのでしょうか。大声や歌はダメらしいが。

【事務局】読み聞かせは割と声を張ります。

【委員】子どもに間隔をとらせたらできるのではないですか。図書館にしてもボランティアにしても学校の方針が大切です。保護者からの心配があったら休止もできるように。三上小は早々におはなし会を中止しました。学校としてどうするのか、はっきりしていただかないと。こちらは子どもにお話を届けたい一心です。学校の希望に添えるように努力します。やっぱりやめておくというのも、一つだと思っし、学校がするという判断なら、条件は悪くても体育館でしてもいい。

#### (4) 滋賀県図書館協議会交流会について

令和2年11月14日(土)に県立図書館で開催予定の図書館協議会交流会について事務局より説明。今年はグループごとの交流ではなく、講師を招く形で行う。

#### (5) その他

中日新聞滋賀版の記事の紹介。

野洲市の鄭末鮮(チョン・マルソン)さんの取材記事。文字の読み書きができなかったが、先生に教えてもらい、書ける喜びと自分が書いた文字を読んでもらえる喜びを知る。識字を通して解放されていった方の話。

令和2年度 第2回図書館協議会 次第

令和2年10月3日（土）

野洲図書館 本館 フリースペース

午前10時～12時

1. 開 会

2. 議 事

- (1) 令和元年度図書館の評価について（外部評価）
- (2) 令和2年度補正予算について  
（新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金）
- (3) 図書館の新型コロナウイルス感染症対策の状況  
および今年度事業等について
- (4) 滋賀県図書館協議会交流会について
- (5) その他

\*次回の会議予定

3. 閉 会

配布資料一覧

事前送付資料

- ① 滋賀県図書館協議会交流会のご案内
- ② 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 申請にかかる補足資料
- ③ 学級文庫用図書セット貸出事業（案）

当日配布資料

- ④ 図書館だより 10月号
- ⑤ 図書館カレンダー
- ⑥ 障がい児・者サービス PR イベントチラシ
- ⑦ ヒミツのおはなし会チラシ
- ⑧ フォトモザイクアートチラシ
- ⑨ 図書館関係記事